

鏡川流域パートナーシップだより No.209 R7.4.24



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

令和7年度課題探求セミナーで、高知大学地域協働学部1回生が鏡川流域を「知る」

4月23日(水)、本市職員が、高知大学地域協働学部1回生60名を対象にした授業「課題探求実践セミナー『地域を知る』」の中で、鏡川流域の概要や鏡川流域関係人口創出事業の取組についての講義を行いました。

この講義は5月7日(水)に実施予定の鏡川河畔を歩く現地実習に向けた事前学習として実施し、学生の皆さんに鏡川流域関係人口創出事業やまちのコイン「ぼっちり」の活用状況などを紹介しました。



鏡川流域関係人口の取組の促進や可視化のために導入したスマホアプリ「ぼっちり」を、学生の皆さんのほとんどが講義中にインストールし、実際に体験を利用しました！

講義資料に掲載されたQRコードを読み取るとぼっちりが付与される体験

また、鏡川でやってみたいことを考えてもらい、講義中に、「ぼっちり」の体験を通じてアイデアを送ってもらいました！学生の皆さんが送ってくれたアイデアは本市職員のスマホアプリ(スポット専用アプリ)ですぐに確認し、講義中に職員が読み上げて紹介しました！



鏡川でやってみたいことをコメント欄に記入して送信するとぼっちりが付与される体験

- ・魚類や鳥類の観察
- ・ゴミ拾い大会！1番多く集めたチームに景品がある
- ・「鏡川流域城郭倶楽部」のイベントに参加してみたい！
- ・東京の友達を呼んでバーベキューや釣りをする
- ・鏡川周辺を歩いたり写真を撮ったりと、魅力を五感で感じたい
- ・遊ぶのはもちろんのこと、遊んだあとに清掃イベントをして鏡川で触れ合うイベントをやりたいです
- ・みんなで日向ぼっこしたいです。絶対気持ちいい

／ 学生の皆さんとの双方向の関わりを即座に作る事ができるのが、「ぼっちり」の魅力のひとつです！ \



学生さんのほとんどが高知県外出身でしたが、講義を通じて、鏡川流域への理解を深めていただきました。学生さんからは、鏡川流域の課題を解決するためのアイデアとして、釣りなどのアウトドアや林業体験など、楽しみながら自然に関わる機会を作りたいといった意見をいただきました！



講義終了後、「鏡川で一緒に何かやってみたい」と声をかけてくれた学生さんがいらっしました！

鏡川で何か活動してみたいと思った方は、ぜひ本市までお声がけください！具体的なアイデアがまとまっていなくてもかまいません。これから一緒に関わり方を考え、多様な人が関わるきっかけを作っていきましょう！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android